

## 検討する人が増えている「無痛分娩」、ベビーカレンダーが密着取材！ 第2弾「出産ドキュメンタリー動画」（計画無痛分娩）を制作 本当に痛くない？デメリットは？無痛分娩の気になる全貌が明らかに

妊娠・出産・子育ての毎日を笑顔にする、ママと専門家をつなげるプラットフォーム企業、株式会社ベビーカレンダー（旧社名：株式会社クックパッドベビー、本社：東京都渋谷区、代表取締役：安田啓司、以下「ベビーカレンダー」）は、8月22日（木）に第2弾「出産ドキュメンタリー動画」（計画無痛分娩）を公開しました。詳細は以下のとおりです。

### 3カ月で再生回数100万回を超えた「出産ドキュメンタリー動画」の第2弾！ 「計画無痛分娩」を選択した夫婦に密着！無痛分娩の実録映像を公開しました

ベビーカレンダーは、8月22日（木）、公式YouTubeチャンネルに、第2弾「出産ドキュメンタリー動画」（計画無痛分娩）を公開しました。4月10日（水）に公開した第1弾「出産ドキュメンタリー動画」（通常分娩）は100万回再生を超え、大きな反響を呼んでいます。動画には「出産って素晴らしい。誕生の瞬間、涙が出ました」「子どもを産んだときのことを思い出して泣けました」など、命が生まれることの尊さを改めて感じたといった内容のコメントが多く寄せられました。



第2弾の動画は、神奈川県大和市の産婦人科「医療法人 愛育会 愛育病院」協力のもと、「計画無痛分娩」に臨んだご夫婦に密着したドキュメンタリー映像です。

麻酔薬を用いて出産時の痛みを和らげる「無痛分娩」。近年、日本でも無痛分娩を選択する方が徐々に増えてきています。関心が高まっている一方で、「本当に痛くないのか」「デメリットはないのか」と不安を感じる方や、実際にどのような流れでお産が進むのか知らない、気になっている、という方も多いのではないのでしょうか。

今回の動画では、出産前日に入院したところから密着し、無痛分娩に向けてどういった準備をするのか、当日はいつ、どのようにして麻酔薬が用いられるのか、麻酔によってどの程度痛みが和らぐのかといった無痛分娩の具体的な状況、そしてママと赤ちゃんが退院する日の様子を記録しました。

出産の形は人それぞれであり、分娩方法の選択肢もさまざま。安全なお産のために、「無痛分娩」を一つの選択肢として考える妊婦さんにとって、この映像が無痛分娩へのより詳しい理解に繋がることを願って、第2弾「出産ドキュメンタリー」（計画無痛分娩）をお届けします。

#### ▼出産ドキュメンタリー（計画無痛分娩）「まだ見ぬ君との待ち合わせ」

<https://youtu.be/iUa37R2QF00>



▲腰にカテーテルを挿入し麻酔薬が注入される



▲出産直後、ママは元気な様子で赤ちゃんに対面



▼出産から4日後、母子ともに元気に退院

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ベビーカレンダー 大久渚月、二階堂美和

TEL：03-6631-3600 FAX：03-6631-3601 MAIL:info@baby-calendar.jp

今回密着したママは、初産で「計画無痛分娩」を選択しました。妊娠が判明した当初から、つわりがひどく、入院することになったと言います。自分は痛みに弱く、我慢強いほうではないと感じており、パパもそのことをよく理解してくれたので、無痛分娩に決めたそうです。産後、体の回復が早いという点にも魅力を感じたほか、パパを産んだお義母さんも無痛分娩を選択していたということも、無痛分娩を選ぶきっかけになったと語っています。

実際に無痛分娩を終えたお二人は、「無痛分娩にして良かった」と声を揃えました。「出産の瞬間や、生まれた直後もあまり痛みがなく、赤ちゃんを抱っこしたり、話したりする余裕があった」と、出産後のインタビューに元気な様子で答えるママ。パパは「計画分娩だから出産に立ち会いやすく、サポートができて良かった」とコメントしています。映像では、前日入院から出産当日の状況、無痛分娩の流れを詳しくまとめました。

#### <医療法人 愛育会 愛育病院 岡田院長>

お産にはいろいろな形式があり、無痛分娩だけがすべてではありません。麻酔の効き方も千差万別ですし、途中経過によっては帝王切開に切り替えざるを得ないケースもあります。より安全なお産をするために、さまざまなツールがある中の一つの選択肢が無痛分娩です。

無痛分娩によるお産は、痛くない代わりに、いきむ力をなかなか出せないというデメリットもあります。今回のお産も、少し上から圧迫してお産を助けてあげる形となりました。無痛分娩においても、いきむ力は大切なので、足腰を鍛えておくといいですね。



そして無痛分娩といえども、出産から2～3時間経つと麻酔が切れて傷の痛みが出てきますが、それが意外と痛いと感じる方もいます。やはりお母さんになるということは、傷を負うことなんですね。これからお母さんになる方たちは、「傷を負って母親になるんだ。だから母親は偉大なんだ」ということを、出産を通して感じていただきたいです。そして、気持ちを強く持って、お産を主体的におこなってほしい。これは、医師も助産師も切に願っていると思います。

#### <ベビーカレンダー編集長 二階堂美和>



昨今、無痛分娩について関心を持つ妊婦さんが増えてきました。お産の痛みを約10分の1に抑えることができ、産後の体力を温存できるというメリットが無痛分娩の選ばれる主な理由のようです。

妊婦さんのお産への恐怖や体への負担を軽減でき、安心して赤ちゃんを迎えられる無痛分娩は、今後、出産の選択肢の主軸ともなり得るものであると考えています。けれど、麻酔薬はどのように投与するのか、痛みは本当はないのか、デメリットはあるのかなど、無痛分娩とはどんなものなのか、知っておくべき知識が十分でなく、理解が得られていないのが現状です。きちんと理解した上で、自分なりのお産を選択してほしい、そんな願いから無痛分娩のドキュメンタリー動画を制作いたしました。

今回も前回（第1弾撮影時）同様、出産の前日から出産に至るまで立ち会わせていただきました。通常分娩、無痛分娩、出産の形は違えども、どちらもひとつの命がこの世に生まれ、家族が生まれる瞬間は尊く、素敵なものだと感じました。ぜひ、命の重さについて、家族の絆についても感じていただけたらと思っています。第1弾と併せてご視聴いただけますと幸いです。

今後もベビーカレンダーでは、ママをはじめ、これからママになる女性たち、そしてそのご家族が不安に感じることを解消し、安心して出産に臨めること、育児を楽しめることを目指して、さまざまな情報を発信していきます。

#### ▼第1弾 出産ドキュメンタリー（通常分娩）「名前のない誕生日」

<https://youtu.be/w9KOWGgg85g>

**▼その他のニュースリリースはこちら**

<https://baby-calendar.jp/smilenews/release>

**<ベビーカレンダーとは>**

『ベビーカレンダー』は、月間 230 万人以上が利用している、医師・専門家監修の妊娠・出産・育児の情報サイトです。妊娠してから赤ちゃんが 1 歳になるまでの間、赤ちゃんの成長に合わせて、毎日必要な情報をお届けします。またこの度、『ベビーカレンダーアプリ』は第 12 回キッズデザイン賞の「子どもたちを産み育てやすいデザイン 個人・家庭部門」において、「少子化対策担当大臣賞」を受賞しました。

表彰式の様子はこちら ▶ <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000023.000029931.html>

**<キッズデザイン賞とは>**

キッズデザイン賞は、「子どもたちが安全に暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」ための製品・空間・サービスなどの中から優れた作品を選び、広く社会へ発信することを目的としている顕彰制度です。

**<公式 SNS からも最新情報更新中！>**

Facebook : <https://www.facebook.com/babycalendar/>

Twitter : [https://twitter.com/baby\\_calendar](https://twitter.com/baby_calendar)

Instagram : <https://www.instagram.com/babycalendar/>

YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCFblSCmHFckHiFXsrcksuHA>

**<会社概要>**

- 社名：株式会社ベビーカレンダー (<https://corp.baby-calendar.jp>)
- 本社所在地：〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-38-2 ミヤタビルディング 10F
- 代表者：代表取締役 安田啓司 ■設立年月日：1991 年 4 月 ■主要事業：産婦人科向け事業、メディア事業